



みみだより No.23

鳥取聾学校ひまわり分校 聴能担当 R3.4.14

文責：谷田

暖かい陽気とともに、新年度がスタートしました。新入生のみなさん、進級されたみなさん、おめでとうございます！今年度も新型コロナウイルス感染拡大による様々な影響が心配されますが、日々感染予防に努めて、元気で楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

この聴能情報通信「みみだより」では、補聴器や人工内耳に関すること、きこえとことばに関することなどのいろいろな情報を発信していきます。ぜひ参考にしてください。



いざという時のために必須！ 補聴器・人工内耳 管理セット

毎日の登校に、補聴器・人工内耳管理セットを忘れずに持ってきていますか？いざ「電池が切れた！」のような場面で管理セットを忘れてしまっていたら、一日中困ることになります。今一度確認をお願いします。使ったら補充しておくことも忘れないでくださいね。

乾燥ケース

学習や活動の中で、補聴器や人工内耳を外す場面があるかもしれません。そんな時、“その辺にポイ”や“ポケットの中に”なんてことのないように、普段から乾燥ケースを準備しておきましょう。乾燥剤を入れたタッパーなどでもよいです。

予備の電池

補聴器の電池は、突然に切れることがあります。途中で切れた時のために、2個は必ず入れておきましょう。電池チェックは、夜、補聴器を外すときにするのが望ましいです。

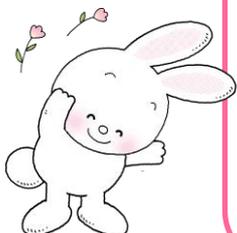
人工内耳の場合も、予備の充電電池を入れておきましょう。「うまく充電できていなかったみたいで、すぐに切れてしまった！」という声をたまにききますので…。

他にも、
ウエットティッシュ
電池チェッカー
ポケットティッシュ
古い電池入れ
などを入れておくと、外出の時にも困りませんね。



予備のカバー

暖かくなってくると、外遊びをして帰ってきたら、汗だくだく！ということもあります。汗よけのためのカバーが湿っていると、補聴器、人工内耳の故障の原因となります。できれば1組は予備があるとよいですね。



ワンポイント 手話



「おやこ手話じてん」より